

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公表番号】特表2003-501385(P2003-501385A)

【公表日】平成15年1月14日(2003.1.14)

【出願番号】特願2001-501212(P2001-501212)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/205	(2006.01)
A 6 1 K	31/221	(2006.01)
A 6 1 K	31/351	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	39/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/205	
A 6 1 K	31/221	
A 6 1 K	31/351	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	39/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月16日(2007.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

解毒量のL-カルニチンまたは2~6炭素原子の直鎖または分岐鎖状アルカノイル基を有するアルカノイルL-カルニチン、もしくはこれらの薬学上許容される塩のひとつを含有し、20mg/日を超える治療有効量のHMG-COAレダクターゼ阻害剤を含有する、医薬組成物。

【請求項2】

HMG-COAレダクターゼ阻害剤がロバスタチン、シンバスタチン、プラバスタチン、およびフルバスタチンからなる群から選択される、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項3】

HMG-COAレダクターゼ阻害剤がシンバスタチンである、請求項2記載の組成物。

【請求項4】

アルカノイルL-カルニチンが、アセチルL-カルニチン、プロピオニルL-カルニチン、ブチリルL-カルニチン、バレリルL-カルニチン、およびイソバレリルL-カルニチンからなる群より選択される、請求項1から3いずれかに記載の組成物。

【請求項5】

アルカノイルL-カルニチンがプロピオニルL-カルニチンである、請求項4記載の組成物。

【請求項6】

L - カルニチンが含まれている、請求項1から5いずれかに記載の組成物。

【請求項7】

L - カルニチンまたはアルカノイルL - カルニチンの薬学上許容される塩が、クロライド、プロマイド、オロテート、酸アスパルテート、酸シトreateト、酸ホスフェート、フマレートおよび酸フマレート、マレートおよび酸マレート、ムケート、酸オキサレート、酸スルフェート、グルコースホスフェート、タートレートおよび酸タートレートからなる群から選択される、請求項1から6いずれかに記載の組成物。

【請求項8】

解毒量のL - カルニチンまたは2 ~ 6炭素原子の直鎖または分岐鎖状アルカノイル基を有するアルカノイルL - カルニチン、もしくはこれらの薬学上許容される塩のひとつを含有し、20mg / 日を超える治療有効量のHMG - COAレダクターゼ阻害剤を含有する、脂質代謝不全に起因する疾患の治療のための医薬組成物。

【請求項9】

L - カルニチンまたは2 ~ 6炭素原子の直鎖または分岐鎖状アルカノイル基を有するアルカノイルL - カルニチン、もしくはこれらの薬学上許容される塩のひとつを含有する、HMG - COAレダクターゼ阻害剤誘導性の毒性もしくは副作用の治療のための医薬組成物。

【請求項10】

HMG - COAレダクターゼ阻害剤がロバスタチン、シンバスタチン、プラバスタチン、およびフルバスタチンからなる群から選択される請求項8または9記載の医薬組成物。

【請求項11】

HMG - COAレダクターゼ阻害剤がシンバスタチンである請求項10記載の医薬組成物。

【請求項12】

アルカノイルL - カルニチンが、アセチルL - カルニチン、プロピオニルL - カルニチン、ブチリルL - カルニチン、バレリルL - カルニチン、およびイソバレリルL - カルニチンからなる群より選択される、請求項8または9記載の医薬組成物。

【請求項13】

アルカノイルL - カルニチンがプロピオニルL - カルニチンである、請求項8または9記載の医薬組成物。

【請求項14】

L - カルニチンが存在している、請求項8または9記載の医薬組成物。

【請求項15】

L - カルニチンまたはアルカノイルL - カルニチンの薬学上許容される塩が、クロライド、プロマイド、オロテート、酸アスパルテート、酸シトreateト、酸ホスフェート、フマレートおよび酸フマレート、マレートおよび酸マレート、ムケート、酸オキサレート、酸スルフェート、グルコースホスフェート、タートレートおよび酸タートレートからなる群から選択される、請求項8または9記載の医薬組成物。

【請求項16】

ロバスタチン、シンバスタチン、プラバスタチン、およびフルバスタチンからなる群から選択される20mg / 日を超える治療有効量のHMG - COAレダクターゼ阻害剤と、L - カルニチンまたは2 ~ 6炭素原子の直鎖または分岐鎖状アルカノイル基を有するアルカノイルL - カルニチン、もしくはこれらの薬学上許容される塩のひとつの解毒量との、HMG - COAレダクターゼ阻害剤の治療有効性を維持しつつHMG - COAレダクターゼ阻害剤誘導性毒性作用を減ずるための組合せ。

【請求項17】

HMG - COAレダクターゼ阻害剤とL - カルニチンまたは2 ~ 6炭素原子の直鎖または分岐鎖状アルカノイル基を有するアルカノイルL - カルニチン、もしくはこれらの薬学上許容される塩のひとつが連続的に投与される、請求項16記載の組合せ。

【請求項18】

HMG-COAレダクターゼ阻害剤とL-カルニチンまたは2~6炭素原子の直鎖または分岐鎖状アルカノイル基を有するアルカノイルL-カルニチン、もしくはこれらの薬学上許容される塩のひとつが実質的に同時に投与される、請求項16記載の組合せ。

【請求項19】

請求項1の医薬組成物に、各薬物を同時に摂取せよ、または各薬物を予め定められた用量基準に基づき摂取せよとの使用説明書が添付されている製品。